

磐城時報

行發日六
編輯兼發行 田田弘成
印刷所 磐城時報社
發行所 磐城時報社
一部金貳圓 一月金十圓
廣告料一行十四字詰五十五錢
日刊(日曜除) 翌日休刊

即時宣戰を布告せよ

四倉郷軍排英決議

四相に速達で送付

郷軍四倉分會では五日朝議機動員を行ひ次の如き排英の決議をなし六日近衛首相、松岡外務、東條陸軍、吉田海軍四相に速達便を以て送附した。

植田署 築

防空關係 新設

今次支那事變勃發以來吾が國の大精神なる八紘一宇の大理想に反し東亞新秩序建設を阻害する行爲を續行せる英國を速かに懲罰すべし是れ聖戰完遂により新東亞建設に至る最短距離にして、か九月末までに竣功の豫定で防空としてのみ世界永遠の平和を關係室も新設される事になつて得らるべし

大瀧發電所問題

平市會に上る

九日平市會召集

平市會は九日午前九時開き市稅午前十時平市會堂に開き、午減額、第五小學校地選定委員後三時から日本間で懇談の宴を選任、十五年追加更正豫算を附議、協議、學校敷地埋立用盛土購入、村道借用、好間川發電所計割變更等について協議する

藝妓置屋 聯合總會

縣下藝妓置屋聯合總會は八日の生活改善として逐年その災災

◎他店で御氣に召さぬ時は是非一度弊店にほんとうの純ドライクリーニング機械を使用致します。正直なる仕事と優秀なる技術を誇る一方は平田町のランドリー

平局で

開函時刻改正

平郵便局では無集配三等局の郵便窓口取扱時間改正に伴ひ從來の閉函時間を左の如く改め回数盆月に入り提灯其他供物を減退する向きが續々と現はれて来たは、三號便を減便する。一號便午前六時、二號便は八時半、三號正午、四號午後六時半

常陽中山支店長

仙台支店長に榮轉

二十日頃赴任、後任は寺内氏

常陽銀行平支店長中山毅雄氏は家庭用ビールが今六日特約店の面川商店に二噸が到着したのを見たり町民や遊客が空瓶を持って同店の前は黒山をなした大出/body店ではないの手腕を認められ昭和九年八月支店長となり今日に至つた人で、平からの轉出を惜しまれてゐる。後任は同行茨城縣下支店から寺内定藏氏が着任する。

無免許運轉

平市橋小橋自動車運轉助手鈴木末定(三三)は三日双葉郡長塚村前でトラックの無免許運轉を發見され浪江署からお目玉を丁被した

供物廢止

例年新盆の家に於ける提灯その他供物の廢止は虚禮廢止の叫び高い時節最も實際に即した一般のビール黨が待ちに待つた

家庭用の

ビール到着

磐中の勤勞奉仕 各方面から感謝

磐城中等學校四、五年生徒三百名事務奉仕してゐるが、一般勞は各擔任致謝引率のもとに同下働者よりも眞面目なだけ作業は好間村愛谷地内夏井川並に内郷一段と進捗してゐるので關係方面村八島地内新川の改修工事に従つては少なからず感激してゐる

漁船の腹に日の丸

緊張した國際情勢から 第二東日本丸が先づ實施

政府の南洋進出政策、スパイ事案を明かにして五日小名濱港に件等で英國との國際情勢緊張の入港した、之に依つて他の遠洋度を加へて来た今日、小名濱町漁船も同様國籍を明らかに標示東日本漁業會社所屬第二東日本丸は船腹に赤の日の丸を描き國

洋裁講習會

平女の會主催で八日から三日間居るが、殊に幼児を連れて母材木町信業幼稚園に開かれ手縫親睦の爲めに託児部を特設して子供服を作る會は會費は一回友の會員が保身の任に當り心配講師は松野尾藤子夫人令妹のなく講習を受ける事の出来る様宮川俊子さん、材料は廢物利用 主催者が心を砕いて居る邊りは參して同店の前は黒山をなしたで誰にも出来るのが特長とされ從來の斯の種講習に且つて見ら

ネオン街の表情

東京から

帆形呂久郎

ちか頃、飲食店が十一時カツキリでかばんになるので夜おそくまで仕事をしてゐる者は大分困るやうである。たとは僕の友達のリベニー役者などは十時頃まで舞臺に出てるので、それからではゆつくり着替へて飲めないと云ふ。もつとも仕事である。斯く云ふ僕なども急ぎの原稿を仕上げから、さて一杯と思つても夜十一時を過ぎてしまふと哀しいことに一杯どころか全然飲めないのである。僕はこの間酒を飲まざりなうにしてゐるが、ちか頃ビールのない事は全く驚いてしまつた。ビヤホールは夜八時を過ぎると本日賣切申候であり普通の飲屋では日本酒を賣つてくれ一本とだければ賣つて非でも一本とだければ賣つて非でもない。みな賣切申候である。さすが淺草通をもつて任じてゐる友達も、これには心底

飯野村葬

飯野村では八月十二日午後一時同村小學校で同村大字下荒川字飯野村阿部利功上等兵の村葬を行ふ、同上等兵は去る十三年十月二日入隊、牡丹江省本隊に派遣國境警備中病死したものである

鯛釣船水浸し

乗組員は無事 久之濱町字江の網佐藤常五郎(五十一)所有船鯛釣丸(三噸)は昨五日午後四時十分頃常五郎氏外五名乗込鯛釣丸の歸港途四倉港(十二)こさは五日正午頃同村東入口孤嶺附近に於て激浪に合

少年溺死

好間村北好間常五年生篠崎光(十一)こさは五日正午頃同村東入口孤嶺附近に於て激浪に合

飯野村では八月十二日午後一時同村小學校で同村大字下荒川字飯野村阿部利功上等兵の村葬を行ふ、同上等兵は去る十三年十月二日入隊、牡丹江省本隊に派遣國境警備中病死したものである

瑠光院新盆に相當り候處物資節約の折柄提灯其他供物は甚だ乍勝手絶對御辭退申上べく萬一御惠與被下候ても乍失禮御返し申可く候間御諒承の程願上候 昭和十五年八月五日 平市紺屋町 加納邦武

聊か驚いたらしく、
「こんな筈ではないんだが
な」と溜息をついてゐた
ことほど左様に我が東京はビ
ールの大拂底なんである。
だが、カフエーや待合など
に行けばビールは一本當てな
んでいふ事はないらしい。然
し、ビールが飲みたいために
カフエーや待合へ行くなど沙
汰の限りである。第一僕みた
い若い男には、そんな贅澤す
る金はないし、そんな時勢
遠慮するのが當然であらう。
と、すると、ビールは益々我
々から遠ざかるものになつて仕
舞ふ。

此の間、七時頃ビヤホールへ
出かけて、さて今夜こそ一時
間ばかり愉しく飲んでやらう
と舌を鳴らして待機してゐた
のだが、あゝなんと二杯限り
でおこわりと来た。かうな
ると、しみじみ去年の夏が戀
しくなる。現に角、去年はま
だ今年ほどビールに困らな
かつた。僕たちは飲みたいだけ
ビールを飲み、満腹の腹を叩
きなから勝手なオダをあげて
ゐる事が出来たのである。そ
れがたつた一年あまりの今年
の夏になつて、豫期もしなか
つたビールの大拂底と来たん
だから、全くワシヤカワナン
ヨである。

銀座だより

長瀬 謙

暑さと政變とは最近つきもの
の様に思はれる。昨年の八月は
平沼内閣が桂冠し、この七月は
また米内内閣が離職する。何
も暑さのために閣僚諸士がへこ
たれたといふのでは勿論ない。
偶然こんなめぐりあはせになつ
たのである。然しよく考へてみ
ると何も一つや二つの内閣が更
迭したところで、我が國策があ
れやこれやと轉換するものでは
ないが、ただ如何にも他から見
るとき日本の政情が安定を缺く
かの感と興へないではおかない
われわれ國民の惧れるのはそれ
である。内閣が更迭するにほそ
れ相應の事情なしとはいはない
らうが、ただその更迭が政局の
推進のための更迭であり、所謂
發展せんための一つの段階たる
ことを希望して止まないであ
る。

その様な意味からして近衛内
閣の出現は種々の意味からして
意義の深いものである。あれほ
ど宣傳された政治の新體制運動
であつてみれば、今次の近衛内
閣は會つての近衛内閣であつて
はならない。けれどもこのこと
はいかにわれわれ國民がやいや
い騒いだところで當の近衛公が
堅い不拔の決意を以つて眞に時
局の艱に於たるのでなければな
らないわけである。其の様な意
味からして切に近衛公の自重加
強を希望して止まない。

歐洲情勢の轉換は世界史の意
味に大なる訂正を與へたといふ
ことは歐洲諸國の國民が最もよ
く體驗してゐる筈である。古い
概念を以てすれば世界とは歐洲
のことであつた。歐洲の文化が
世界の文化であつた。この歐洲
人の思ひあがりやギリヤ、ロ
ーマ以來の彼等が世界の優秀民

族なる傳統的誇りであつた。然
し第一次歐洲大戰に於てこの
い概念は訂正されざるを得なく
なり、今次の歐洲戰爭に於て根
底から覆されるにいたつた。

牛豚

平市田町
三三三番
電話三三三番

金融無盡 簡易儲蓄

出張所縣内各町

御誂ご既製品

電話三八六番

洋酒と喫茶

歐人のサービス
気分本位の店
タリヤ・ボン・通り
タリヤ・ボン・通り
タリヤ・ボン・通り
電話二〇〇番

体位向上の夏

新舞子や四倉の海は招く
海岸行は快適な木炭バス
今年夏は更に増車致しました
平→四倉 往復券二割引四十錢
(団体は特に御相談に應じます)

御案内 自動車停留所からの道程
★ビクニツク、船遊びには日本百景
★新舞子、仁井田浦へ……約二丁
★海水浴には……四倉海水浴場へ……約一丁
★波立薬師、鵜ヶ洲海岸へ……約八丁

合名 平四倉乗合自動車
電話五九四番

女販賣員を募る

採用員 五名
年齢 十八歳ヨリ二十歳マデ
◎詳細ハ平職業紹介所ニ問ヒ合セ下サイ

三井呉服店
電話二八四番

吸入用酸素純度99%

モノサシ
ハカリ
マヌ
体温器
寒暖計

写真機
材料一式
関内薬局
電話四〇番

夏！夏!!!

例年通り冷い美味しい飲物はじめま
した。皆様今年も何卒宜しく御願ひ
致します。

アイスクリーム
あづきアイス
みづ豆
ソーダ水
その他各種

魚清食堂

電話六三三番

盆の御用意!!!

◎故人の靈を祀るお盆が近づきました
◎祖先崇拝は家庭繁榮の礎
佛壇、塗位牌、佛金具類等を豊富
に取揃へました
◎値段ばかり安くても品質が粗末では勉強であり
ません。安だけども店はハヤリマセン
◎盆の御用意は是非當店又は各支店へ

平市四丁目(郵便局向ひ通)
山光堂 佛具問屋
電話五五〇番

支店 石城郡四倉本町
博善社

亡父鈴木光吉新盆に相當り候處
提灯其他供物の儀は時節柄一切御辭
退申上度不惡御諒承願上候
昭和十五年八月
平市鎌田町
鈴木定光

祖先の靈を祀る

お盆が近づきました。
佛壇、塗位牌、佛金具類一式
豊富に取揃へました。

御盆の御用意は是非當店へ……
平市三丁目
丸はん商店
電話三五九番

祖先の靈を迎へる

御盆が参りました
佛壇、塗位牌、佛金具類一式取揃へました
是非御来店下さい
平市一丁目
和久井屋商店
電話四〇五番

謹啓 隆昌院大學玄道居士の新
盆に相當り候處時局に鑑み乍勝
手提灯其他の供物等御贈與の儀
固く御辭退申上候
尙萬一御届け被下候とも乍失禮御受け致兼候
に付右不惡御諒承願上候
昭和十五年八月五日
四倉町新町
長谷川義雄

謹啓 濟生院潤徳厚仁大居士の
新盆に相當り候處時局に鑑み乍
勝手提灯其他の供物等御贈與の
儀固く御辭退申上候
尙萬一御届け被下候とも乍失禮御受け致兼候
に付右不惡御諒承願上候
昭和十五年八月五日
四倉町字新町
額賀誠